

いま活断層が危ない

—中部の内陸直下型地震

名古屋大学 地震火山・防災研究センター

安藤雅孝 田所敬一 林能成 木村玲欧 編著

定価:1,800円(本体1,714円+税5%)

申込冊数

冊

お名前

ご住所

電話番号

注文日: 月 日

販売店名

北陸中日新聞中山新聞舗

あなたの足元は大丈夫!?

いま活断層が危ない

— 中部の内陸直下型地震 —



名古屋大学 地震火山・防災研究センター

安藤雅孝、田所敬一、林能成、木村玲欧 編著

■A5判、並製・220ページ(カラー20ページ)

■定価 1,800円(本体1,714円+税)

1995年1月17日、阪神・淡路大震災が起こった。以前から、地震学者たちは、「神戸をはじめとする近畿には危険な活断層が存在し、そのうち大地震が起こる」と警鐘を鳴らし続けていた。日本の活断層が中部地方と近畿地方に集中していることを考えると、中部地方で大地震が起これば、同じことになりかねない。

この地方で発生した地震は濃尾地震、福井地震、三河地震がある。1991年10月に発生した濃尾地震はマグニチュード8・0、日本最大級の内陸直下型地震だ。被害は死者7273人、全壊14万余、半壊した建物が8万余戸にも及んだ。遠く離れた海の地震よりも、足元を揺るがす活断層による地震のほうが確実に命取りになるのは、必至だ。

活断層の正体を気鋭の名大地震・防災学者のグループが、最新の情報をまじえ、分かりやすく解説した。

●内容

- 一章 内陸活断層とその地震
阿寺断層、濃尾断層帯、長野盆地西縁断層など中部の断層を紹介
- 二章 海溝型地震
内陸活断層との関係、地震への備えとしての最新研究
- 三章 大地震直後からの知識
災害から身を守り、乗り越えるために何をすればいいのか
●ためになるコラム、災害時非常連絡先一覧つき

発行 中日新聞社出版開発局 〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1

TEL 052(221)1714 FAX 052(221)1591 <http://www.chunichi.co.jp/nbook/>